

令和 8 年 2 月 22 日
ホテルラシーネ新前橋

令和 8 年 通常総会

農
市

基調講演

演 題「小栗上野介の生涯」
講 師 市 川 平 治 氏

講師紹介

昭和 45 年東京農業大学林学科を卒業後、14 年間高校教員を務め、平成 2 年より旧倉渚村議会議員、平成 14 年より旧倉渚村長(現在の高崎市倉渚町)、その後の平成の大合併に伴い、旧倉渚村最後の村長となった。勇退後は、新島学園中学校・高校の校長を 6 年間務めたのち、現在、烏川流域森林組合長を務めている。また、村長時代より小栗上野介顕彰会の会長を務めてきた。小栗上野介は、令和 9 年の NHK 大河ドラマの主人公となり、今後、その生涯が脚光を浴びることと、期待される。

総会議案書

1 議 事

第 1 号議案 令和 7 年事業報告について・・・1 頁 - ズ

第 2 号議案 令和 7 年会計報告・監査報告について・・・2 頁 - ズ

2 参考資料

① 東京農業大学校友会群馬県支部役員名簿(7～8 年)・・・3 頁 - ズ

② 東京農業大学校友会群馬県支部規約・・・4 頁 - ズ

③ 学歌ほか・・・5 頁 - ズ

④ 懇親会時の農大マンドリン部ミニコンサート・・・6 頁 - ズ

東京農業大学校友会群馬県支部

●第1号議案 令和7年事業報告について

1 総会の開催(対面にて開催)

令和7年2月16日に前橋市「ホテル ラシーネ新前橋」において、校友会本部・大学から副学長、農大二高からは校長、中沢丈一支部長外約100名が出席して盛大に開催した。中沢支部長より、令和6年4月に発生した、台湾地震に際し、農大校友会台湾支部への支援への協力についての会員への感謝を中心に挨拶。来賓者の矢嶋副学長からは、学校の近況などを交えた、祝辞を頂いた。さらに、農大二高加藤校長よりの農大二高の近況報告を兼ねた祝辞を頂いた。その後、来賓の井田泉県議会議員、徳江千代子元農大教授を紹介の後、議事に入り、令和6年の事業報告等が原案通り承認された。また、総会に先立ち、校友のスポーツライター(駅伝)として活躍中の酒井政人さんから「箱根駅伝の移り変わり」と題しての講演があった。総会後には、懇親会に移り、反町前支部長の乾杯により和やかな内に懇談後、高橋優太校友の指揮のもとに学歌、小森 嶺校友のリーダーで、青山ほとりを踊ると共に、各来賓者に対しエールを贈り、最後に締めにより、盛会裡に散会した。また、総会の様子は農大校友会本部ホームページへ掲載し、広く内容を公開している。

2 幹事会等の開催

随時、支部長・副支部長・幹事長等による打合せを行い、令和7年11月29日(土)農大二高会議室において、拡大幹事会を開催し、次期総会の内容について決定した。また、本部校友会の活動状況等について情報共有が図られた。また、平成7年12月17～20日には、支部有志による台湾支部訪問が実施され、令和6年に発生した台湾地震以後の交流が実現しました。(HP参照)

3 地域・職域別親睦会等の開催

- 緑友会群馬県支部 5月11日 支部長・幹事長
- 女子部会8月3日 支部長・幹事長
- 教職員部会9月6日 支部長・市川副支部長
- 県庁ときわ会 令和8年1月13日 支部長・小谷野副支部長・重田監事・幹事長

4 校友会本部等との連携

- 全国支部長会議 2月28日(世田谷キャンパス)
- 校友会通常総会 6月6日(世田谷キャンパス)
- 教育後援会地域懇談会 9月20日(高崎市:エテルナ高崎)
- 校友会関東甲信越ブロック会議 10月12日～13日(新潟県長岡市)

5 校友の慶弔

弔

- 令和 7年 1月25日 高畑 時彦 氏(昭44造園)逝去
- 令和 7年 7月22日 石井 清一 氏(昭37林学)逝去

●第2号議案 令和7年会計報告について

第2号議案			参 考		
(令和7年)			(令和6年)		
総括 収入1,115,842円－支出664,802円＝451,040円			総括 収入1,384,757円－支出1,068,475円＝316,282円		
収入の部			収入の部		
摘 要	金額(円)	備 考	摘 要	金額(円)	備 考
繰越	316,282	前年度繰越	繰越	300,718	前年度繰越
年会費	142,000	142人×1000円	年会費	154,000	154人×1000円
懇親会費	413,000	59人×7000円	懇親会費	385,000	55人×7000円
交付金	204,000	校友会本部より	交付金	150,000	校友会本部より
雑収入	40,560	寸志・利子	雑収入	50,039	寸志・利子
	0		義援金	345,000	台湾地震義援金
総計	1,115,842		総計	1,384,757	
支出の部			支出の部		
摘 要	金 額 (円)	備 考	摘 要	金 額 (円)	備 考
総会費	500,968	会場費・懇親会費・印刷・通信他	総会費	537,844	会場費・懇親会費・印刷・通信他
会議費	33,264	拡大幹事会(参集者32名)	会議費	25,596	拡大幹事会(参集者28名)
事務費	23,880	通信費等	事務費	35,495	通信費等
行事費	0		行事費	355,000	台湾地震支援金・農大駅伝部合宿激励
活動助成費	50,000	緑友会・女子部会・教職	活動助成費	60,000	剣友会・女子部会・教職・県庁
関ブロ費	51,090	関ブロ負担金、旅費等	関ブロ費	54,540	関ブロ負担金、旅費等
渉外費	5,600	教育懇談会花束	渉外費	0	吊電等
総計	664,802		総計	1,068,475	

令和7年会計監査報告について

令和7年東京農業大学校友会群馬県支部の会計監査にあたり、収入支出に伴う関係書類及び関係帳簿等を慎重に審査した結果、いずれも正確かつ適正であることを認めます。

令和8年2月2日

監事 小澤 正和(50 林)
 監事 重田 英男(54 農)
 監事 千木良昭宏(61 農)

東京農業大学校友会群馬県支部役員名簿(令和7～8年)

支部長

中沢 丈一 46 経

副支部長

幹 事

顧 問

小谷野 基 43 拓
久保 富雄 44 造
茂木 一彦 44 造
市川 平治 45 林
大塚 孝明 45 工
宮島 孝順 45 造
清水 敏夫 46 林
堀口 恵子 47 化
塚越 邦明 47 造
成田 邦夫 49 造
梅澤 昇 50 工
野上 創造 53 林
櫻井 幹男 54 造
福島 正 56 造
上原 由美 H27 環院

幹事(職)

渡辺 行雄 46 工
神保 孝史 49 経
磯田 喜義 49 造
新井 洋子 49 栄
國峯 弘子 51 短栄
植木 雄二 53 拓
白石久美子 57 栄
杉山 崇 H1 工
井上 敏聡 H6 造
六角 敏三 47 造
斉藤 政雄 50 造
須藤 義則 H3 経
栗原 勇夫 H4 拓
橋本 隆弘 H5 産経
塩谷 和 H5 栄
黛 紀昭 H6 林
渡邊 靖江 H6 栄
茂木 知美 H8 工
末次 涼子 H10 農
岩田 貴嗣 H11 開
丸岡 透 H19 造
田村 仁 H23 経
坂本 巧一 48 経
高橋 徳樹 53 経
飯塚 敏正 54 農
岩倉 進 55 工
大山 安 58 工
高橋 伸幸 59 化
清水 伸一 62 畜
松村 晋之 H12 経

評議員

横澤 馨 38 経
松田 栄 38 経
石黒 弘子 38 短栄
反町 功夫 40 畜
清水 一也 40 造
松本兼太郎 41 経
柳澤 光雄 43 短醸
中澤 恒喜 48 林
井田 泉 60 醸
中澤 正尉 35 農
佐藤 和幸 38 農
神田 明彦 39 工
下田 俊彦 45 化
藤巻 宣弘 45 工
市川 宣夫 45 造
滝原 照雄 46 農
反町 功夫 40 畜
清水 敏夫 46 林
奈良公太郎 47 畜
堀口 恵子 47 化
小澤 正和 50 林
栗原 宏泰 63 農
大井 圭一 63 拓

監 事

小澤 正和 50 林
重田 英男 54 農
千木良昭宏 61 農

幹事長

大井 圭一 63 拓

幹事(地)

副幹事長

栗原 宏泰 63 農
稲木 一秀 H1 工
伊藤 勲 H2 経
岡部 繭子 H18 農院

※群馬県支部選出代議員

※名簿順は役職ごと卒業年次順で表示

※支部長は校友会会則の規定より代議員の資格を有する。 ・代議員任期4年間(R5～8年)

東京農業大学校友会群馬県支部会則

昭和37年1月1日施行

昭和39年2月16日一部改正
昭和48年2月18日一部改正
昭和50年2月23日一部改正
昭和55年2月24日一部改正
平成3年2月24日一部改正
平成4年2月23日一部改正
平成19年2月4日一部改正
平成31年2月24日一部改正

第1条（名称）

この会は、東京農業大学校友会群馬県支部という。

第2条（目的）

この会は、東京農業大学校友会本部と緊密な連絡を図りつつ、会員相互の親睦と発展に寄与することを目的とする。

第3条（事務所）

この会の事務所は、幹事長宅に置く。

第4条（会員）

この会の会員は、正会員及び賛助会員とする。

1. 正会員は、東京農業大学を卒業又は終了した者。
2. 賛助会員は、東京農業大学に関係があり、この会の趣旨に賛同する者で総会の承認を得た者。

第5条（役員）

この会に次の役員を置き、その任期は2カ年とする。

また、名誉支部長を置くことができる。役員は総会で選出する。

1. 支部長 1名
 2. 副支部長 若干名
 3. 評議員 若干名
 4. 顧問 若干名
 5. 幹事長 1名
 6. 幹事 若干名
 7. 地方幹事 若干名（1郡市当たり1乃至4名）
 8. 監事 3名
- なお、幹事の互選により副幹事長を置くことが出来る。

第6条（役員の任務）

役員の任務は、次のとおりとする。

1. 支部長は、会務を統括し、この会を代表する。
2. 副支部長は、支部長を補佐し、支部長事故あるときは、支部長の職務を代行する。
3. 評議員は支部長が特に必要と求めた事項を審議する。
4. 顧問はこの会の重要事項について支部長の諮問に応ずる。
5. 幹事長は、幹事を代表し、支部長の命により会務の執行に当たる。
6. 幹事は、会務に必要な事項を処理する。
7. 地方幹事は、幹事と緊密な連携のもとに地区内における会務に必要な事項を処理する。
8. 監事は、会務の執行の状況を監査する。

なお、監事の互選により代表監事を選出する。

第7条（会議）

この会の会議は、総会及び役員会とする。

1. 総会は、毎年2月に開催する。ただし、必要により臨時総会を開催することが出来る。
2. 役員会は、必要によりこれを開催する。
3. 会議の議事は、出席正会員の過半数で決議する。

第8条（会費及び会計）

この会の会費は、会費及び寄付金、その他をもって当てる。

1. 会費は、正会員1人年額1,000円とする。

付則

この会則は、昭和37年1月1日から施行する。

学 歌

- 一 常磐の松風 みどりに吹きて
木草の色さへ 爽けき丘辺
厚きみ恵 いたゞきつゝも
基礎かたし われらが学舎
- 二 ここにし集える 千数の学徒
沸き立つ意気もて 真理を探り
土の文化を 進めんものと
つとめて息まず 朝より宵に
- 三 科学の力に 自然を服し
尽きせぬ富源を 四方にひらき
永久に現ぜん 祖国の栄を
重くも大し われらが使命

(大正15年9月制定)
尾上柴舟 作詞、山田耕筰 作曲

応援歌

ああ若人の血は踊り
青春の意気ここに燃ゆ
戦わんかな勝たんかな
くろがねの腕愛撫して
たてますらをよ我健児
おお農大 農大
土の覇者 農大
紺碧の空にいや高く
母校の旗を掲げん哉

青山ほとり

- 一 青山ほとり常磐松
聳ゆるタンクは我母校
何時も元氣は山を抜く
農大健児の意気を見よ
今日も勝たずにおくものか
そりゃ突き飛ばせ投げ飛ばせ
- 二 お前達や威張ったって知っちよるか
お米の実る木は知りやすまい
知らなきゃ教えてあげようか
おいらが農場へついてこい
金波銀波の打つ様は
そりゃ踊りゃんせ踊りゃんせ
- 三 農大健児はすまないが
お米の実る木がついている
昔も今も変わらない
人間喰わずに生きらりよか
命あつての物種じゃ
そりゃ惚れりゃんせ惚れりゃんせ
- 四 お嫁に行くならお娘さんよ
お百姓さんに行きゃしゃんせ
難しい事は抜きにして
ちょっくら考え御覧じろ
お腹の貧しい事はない
そりゃ結婚せ結婚せ

(懇親会時 お楽しみ)

農大マンドリン部 OB

ミニコンサート

オープニング曲

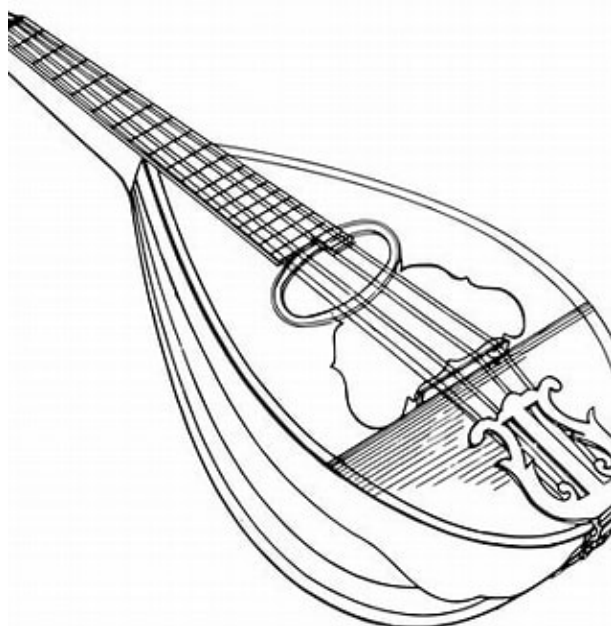
1.真珠とりのタンゴ

昭和歌謡曲

2.星降る街角

3.いい日旅立ち

4.異邦人



5.北酒場

6.あずさ 2 号

7.勝手にシンドバッド～ ルビーの指輪

8.川の流れるように



基調講演 × 7

[illegible]